

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 8 日 (2005.12.8)

【公表番号】特表 2001-527412(P2001-527412A)

【公表日】平成 13 年 12 月 25 日 (2001.12.25)

【出願番号】特願平 10-549512

【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 15/09

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 16/18

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 16/18

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 12 日 (2005.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成17年5月12日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第549512号

2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 メリーランド 20850, ロックビル,
キー ウェスト アベニュー 9410

名称 ヒューマン ジノーム サイエンシーズ, インコーポレイテッド

3. 代理人

住所 〒540-6015 大阪府大阪市中央区城見一丁目2番27号
クリスタルタワー15階

氏名 (7828) 弁理士 山本 秀策

電話(大阪) 06-6949-3910

4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

6.1 請求の範囲を別紙のとおり補正します。

以上



請求の範囲

1. 以下からなる群より選択されるポリヌクレオチド：

(a) 配列番号2に示されるとおりの推定アミノ酸配列を有する、少なくとも成熟形態のポリペプチドをコードするポリヌクレオチド；

(b) 少なくとも成熟形態の該ポリペプチドをコードする配列番号1に示されるコード配列を有するポリヌクレオチド；

(c) ATCC 97872に含まれるcDNAによってコードされる、少なくとも成熟形態のポリペプチドのアミノ酸配列を有するポリペプチドをコードするポリヌクレオチド；

(d) 少なくとも成熟形態のポリペプチドをコードするATCC 97982に含まれるcDNAのコード配列を有するポリヌクレオチド；および

(e) 配列番号2の-23~41、-22~41もしくは1~41のアミノ酸配列を有するポリペプチドをコードするポリヌクレオチド、またはこのようなポリヌクレオチドの相補鎖。

2. DNAである、請求項1に記載のポリヌクレオチド。

3. ゲノムDNAである、請求項2に記載のDNA。

4. RNAである、請求項1に記載のポリヌクレオチド。

5. 組換えベクターを作製する方法であって、請求項1~4のいずれか1項に記載のポリヌクレオチドをベクター中に挿入する工程、を包含する方法。

6. 請求項1~4のいずれか1項に記載のポリヌクレオチド、または請求項5に記載の方法によって作成されたポリヌクレオチドを含むベクター。

7. 前記ポリヌクレオチドが、原核宿主細胞または真核宿主細胞における発現を可能にする発現制御配列に作動可能に結合する、請求項6に記載のベクター。

8. 組換え宿主細胞を作製する方法であって、請求項6または7に記載のベクターを宿主細胞中に導入する工程、を包含する方法。

9. 請求項1～4のいずれか1項に記載のポリヌクレオチド、または請求項6もしくは7に記載のベクターで、遺伝的に操作された宿主細胞、あるいは、請求項8に記載の方法によって作製された宿主細胞。

10. 抗菌活性を有するポリペプチドを産生するプロセスであって、請求項9に記載の宿主細胞を培養する工程および該培養から請求項1～4のいずれか1項に記載のポリヌクレオチドによってコードされるポリペプチドを回収する工程を包含する、プロセス。

11. 請求項1～4のいずれか1項に記載のポリヌクレオチドによってコードされるアミノ酸配列を有するポリペプチド、または請求項10に記載のプロセスによって得られるポリペプチド。

12. 配列番号2に示されるアミノ酸配列を有するポリペプチドに特異的に結合する、抗体。

13. 請求項11に記載のポリペプチドおよび必要に応じて薬学的に受容可能なキャリアを含有する、薬学的組成物。

14. 請求項1～4のいずれか1項に記載のポリヌクレオチドまたは請求項12に記載の抗体を含有する、診断組成物。

15. 真菌感染または細菌感染の処置のための薬学的組成物の調製のための、請求項11に記載のポリペプチドまたは請求項1～4のいずれか1項に記載のポリヌクレオチドの使用。

16. 染色体のマッピングのための、請求項1～4のいずれか1項に記載のポリヌクレオチドの使用。

17. 免疫系関連障害の診断のためのプロセスであって、請求項11に記載のポリペプチドをコードするmRNAのレベルまたは請求項11に記載のポリペプチドのレベルを測定する工程、および該レベルを標準のレベルと比較する工程を含む、プロセス。